

2024(令和 6)年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人藤沢市民活動推進機構

1 事業の総括

2024 年度は、「新型コロナウイルス感染症」からの復興の伸びが緩やかに安定してきた年でした。

「市民活動支援施設管理運営事業」は第 5 期 2 年目で、「共感 共感を育むコミュニケーション空間を創る」をテーマに、市民が参加しやすい機会づくりに取り組みました。市民活動団体向けには、ボランティア講座、SNS や広報関連ツールなどに関する講座、協働推進のためのイベント・講座実施、地域市民の家予約システム変更に伴うサポートに取り組みました。一般市民に向けては、現役世代の方も参加できる夜実施の交流機会提供事業、市役所 1 階ラウンジ・湘南台駅地下通路での団体展示の実施、団体 PR 動画の放映など、一般市民と市民活動団体との接点づくりに取り組みました。市民活動推進センター・プラザむつあいの合計年間利用者数は 2023 年度 26,796 人から 16 名減少の 26,780 人となり、前年比 99.94%とほぼ前年同様となりました。

市民活動支援施設管理運営事業以外では、「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム」が 11 年目となりました。これまでの 10 年間に本プログラムを卒業したワカモノの皆さんは、継続的にインターン先の市民活動団体で活躍するだけでなく、本プログラムの OBOG として後輩のサポートを行ったり、当団体のイベント等プロデュース事業にてイベント現地で活動を行ったりしています。市民活動がワカモノ OBOG の生活に根付いてきており、寄り添い継続してきた成果が実を結んでいます。

また、今年度は新規で文部科学省から「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」を、藤沢市役所から「スマホ何でも相談窓口ボランティア育成事業」を受託して実施しました。メタバース(インターネット上に構築された、3 次元仮想空間)でのイベント実施や、ボランティア育成・交流の支援を行いました。

また、新規事業の実施の効果もあり財政面での課題が解消され、2024 年度の年間会計は黒字、正味財産も黒字となりました。しかし、2024 年度受託した新規事業は短期的な事業のため、新たな事業の創出が依然として課題となっております。

2 事業の内容

(1) 市民活動団体等の組織運営および活動支援に関する事業

ア 市民活動団体等への団体交流の場の提供 ※支援施設事業の一環で実施

参加者同士のネットワークの促進を図った交流機会の提供として、推進センターで実施した「まちづくりでつながるクリスマス交流会」やプラザでの交流機会事業「プラザ de カフェ」、湘南台駅におけるパネル展示企画と連動した「パネル展示団体トークイベント」、SDGs をテーマに実施した「パートナーシップミーティング in 藤沢」等、合計 19 回開催した。

- ① 日時 年間
- ② 場所 市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい、
湘南台駅地下ギャラリーコーナー、藤沢市役所 他
- ③ 従事者人員 13 名
- ④ 受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

イ 市民活動団体等の活動における共通課題に関する研修会の開催 ※支援施設事業の一環で実施

市民活動団体の活動における共通の課題について、「小さな組織のための SNS 講座」、「無料で簡単デザイン！ Canva 入門講座」、「市民活動・地域活動のための写真撮影入門講座」、プラザでの学習機会事業「プラザ de 学ぶ」等、活動支援関連講座を 10 回(オンライン・オフライン)で開催した。また、「らくらく Word 講座」、「らくらくホームページ作成講座」等市民活動団体の DX を推進する講座を 15 回実施した。

- ① 日時 年間
- ② 場所 市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい、六会公民館、オンライン
- ③ 従事者人員 10 名
- ④ 受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

ウ 地域版組織診断システムの運用

県内の一般社団法人が行う組織診断関連事業に人材派遣をし、ノウハウの提供と事業運営支援等を行った。

- ① 日時 年間
- ② 場所 神奈川県内中間支援施設、ほか
- ③ 従事者人員 3名
- ④ 受益対象者 市民活動団体関係者、中間支援組織関係者

エ 市民活動団体等への財政支援による組織基盤強化事業

市民活動の財政的支援を目的に、クラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」での運営サポートを行い、854,000 円の資金調達を支援した。

参考:支援プロジェクト内訳

起案者	支援金額	達成率	支援者	開始	期限
二宮専徳の会	203,500 円	33%	30 人	2024/10/13	2024/12/30
ココロラップコンテスト	650,500 円	108%	104 人	2025/ 1/15	2025/ 2/28

- ① 日時 年間
- ② 場所 支援団体の活動場所および事務所
- ③ 従事者人員 2名
- ④ 受益対象者 市民活動団体関係者、またその支援者、関心のある市民

オ 災害復興活動団体への支援事業

被災地で活動する団体及び地域の市民活動団体等にパソコンを寄贈できるよう、市民等よりご寄贈頂いたパソコンの整備・再生を行った。当該期間中に被災によるパソコン寄贈の要請は無く、寄贈はしなかった。また、市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい募金箱を設置した。

令和6年能登半島地震の復興支援として、8/21 から1週間、1名を現地に派遣した。

- ① 日時 年間
- ② 場所 市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい
- ③ 従事者人員 3名
- ④ 受益対象者 被災地で活動している市民活動団体等

カ SAVE JAPAN プロジェクト(希少生物保護活動団体支援プロジェクト)

「損害保険ジャパン(株)(東京都)」と「(認定 NPO 法人)日本 NPO センター(東京都)」、全国各地の環境団体、中間支援団体の 4 者協働で、希少生物が生きやすい環境を作る活動を全国で展開している「Save Japan プロジェクト」。本事業は 10 月開始・9 月終了となっている。2021 年 10 月から、小田原市酒匂川左岸で野生のめだかの保全活動をしている「めだかサポーターの会」を、おだわら市民交流センターUMECO を運営している「(NPO 法人)市民活動を支える会」とともに支援しており、本年度も「めだかサポーターの会」の活動を支援した。

2024 年 4 月 21 日(日)に「めだかの住み家点検 大作戦！！」を、5 月 26 日(日)に「田んぼを増やそう！大作戦！！」を、10 月 20 日(日)に「稲刈り大作戦！！」を実施した。それぞれ、51 人、60 人、88 人の方にご参加いただいた。

- ① 日時 年間
- ② 場所 支援団体の活動場所 他
- ③ 従事者人員 2 名
- ④ 受益対象者 公益的な市民活動を行っている団体と参加市民

キ 各種市民活動助成金審査会への参加協力

市民活動団体へ財政的支援を実施している組織へ、審査会等への参加、アドバイス等の協力を行った。

- ① 日時 年間
- ② 場所 助成組織の事務所他
- ③ 従事者人員 4 名
- ④ 受益対象者 各種助成組織 (※)

※参考:参加助成プログラム及び審査会等

(公財)かながわ生き活き市民基金 中央ろうきん社会貢献基金
藤沢市 平塚市 綾瀬市 横浜市 相模原市 二宮町 鎌倉市

(2) 市民活動および市民活動支援に関する調査研究・情報発信事業

ア 関連情報の収集と発信事業 ※支援施設事業の一環で実施

本年度は、市民活動促進に関する情報を 2,920 件(前年比 101.0%)収集し、ホームページやメールマガジン等、様々な媒体を活用し、5,601 件(前年比 72.1%)発信を行った。

- ① 日時 年間随時
- ② 場所 情報の届く範囲
- ③ 従事者人員 10 名
- ④ 受益対象者 市民活動に興味のある者

イ 市民活動・社会貢献活動に関する調査 ※支援施設事業の一環で実施

「市民活動団体と公共施設、地域のステークホルダーに関する調査」を、支援施設登録団体及び藤沢市内 NPO 法人計 487 団体を対象に実施した。

公共施設の利用状況について、利用している施設は「市民活動推進センター」72.9%、「公民館・市民センター」43.2%、利用内容は「総会・会議」63.5%、「講座・講演会」42.7%でした。法人格のある団体は団体外向けの利用が多く、法人格のない団体は団体内部向けの利用が多い傾向がありました。

地域のステークホルダーについて、「他の市民活動団体」とのつながりがあるという回答が 43.2%で最も多く、「行政・公共施設」が 38.5%と続きました。

- ① 日時 年間
- ② 場所 藤沢市内
- ③ 従事者人員 3 名
- ④ 受益対象者 市民活動に興味のある者

ウ 市民活動関連研修会への参加・出席・協力および視察受け入れ

外部で実施している市民活動支援力の向上に必要と思われる研修会等に年間 9 回(※1)参加した。また、AED 講習など内部で研修会を 3 回(5/7、10/15、2/25)実施した。

視察受け入れは、日本 NPO センター、水産庁、三重県をはじめ、3 団体(※3)を受け入れた。

- | | |
|---------|-----------------------|
| ① 日時 | 年間随時 |
| ② 場所 | 藤沢市他 |
| ③ 従事者人員 | 28 名 |
| ④ 受益対象者 | スタッフ、市民、中間支援組織、行政、企業他 |

※1 参加研修会等

- | | |
|--------------|--|
| 7 月 20 日(土) | ともに市民社会をつくる学びのコミュニティ ともしび・NPO スクール
【開講式】市民社会とケア「する/される」から「つくりだされる」へ |
| 7 月 30 日(火) | ともに市民社会をつくる学びのコミュニティ ともしび・NPO スクール
いろいろな人の市民社会論「続・ケアの観点から NPO のあり方を考える」 |
| 8 月 27 日(火) | ともに市民社会をつくる学びのコミュニティ ともしび・NPO スクール
いろいろな人の市民社会論「仲間とともに活動をつづけるコツ」 |
| 9 月 17 日(火) | ともに市民社会をつくる学びのコミュニティ ともしび・NPO スクール
いろいろな人の市民社会論「NPO らしい組織マネジメントとは」 |
| 10 月 8 日(火) | ともに市民社会をつくる学びのコミュニティ ともしび・NPO スクール
いろいろな人の市民社会論「企業セクターからみた NPO」 |
| 9 月 26 日(木) | ボランティア活動支援施設「CEO ミーティング」 |
| 10 月 17 日(木) | SAVE JAPAN プロジェクト キックオフミーティング |
| 11 月 5 日(火) | ともに市民社会をつくる学びのコミュニティ ともしび・NPO スクール
いろいろな人の市民社会論「わたしたちの市民社会論」 |
| 1 月 17 日(金) | 中間支援のための地域課題の「見える化」講座 |

※3 視察受け入れ団体等

- | | |
|--------------|--|
| 10 月 4-5 日 | 全国の市民活動団体の皆様
※日本 NPO センター主催「第 4-5 回 ”つなぐ力”を現場から学び、高め合う(フィールドワーク)」での活動現場事例として視察受入。 |
| 12 月 16 日(月) | 水産庁 |
| 12 月 16 日(月) | 三重県 |

エ 湘南 SDGs ネットワーク事業

(一社)SDGs 市民社会ネットワークの地域ユニット幹事団体として、定例会議への出席、外務省での意見交換会への代表としての参加や、「SDGs 取り組みに関する NPO・市民活動団体の全国調査」の調査委員として活動した。地域の NPO の取り組みについて調査研究や「全国フォーラム」の運営に関わった。

また、文部科学省令和 6 年度「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」を受託し、地域連携による障害者の生涯学習機会の拡大促進を進めた。メタバース(インターネット上に構築された、3 次元仮想空間)での、藤沢支援学校の生徒やカンボジアの障害児など、障害者による作品展示と VR ゴーグル体験会の開催や、全国の障害者の生涯学習活動の関係者が集まる「共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 藤沢」を行なった。

- ① 日時 年間
- ② 場所 支援団体の活動場所等
- ③ 従事者人員 2 名
- ④ 受益対象者 一般市民、市民活動団体、地域活動に興味関心のある企業関係者等

(3) 市民活動を支援する施設の管理運営事業

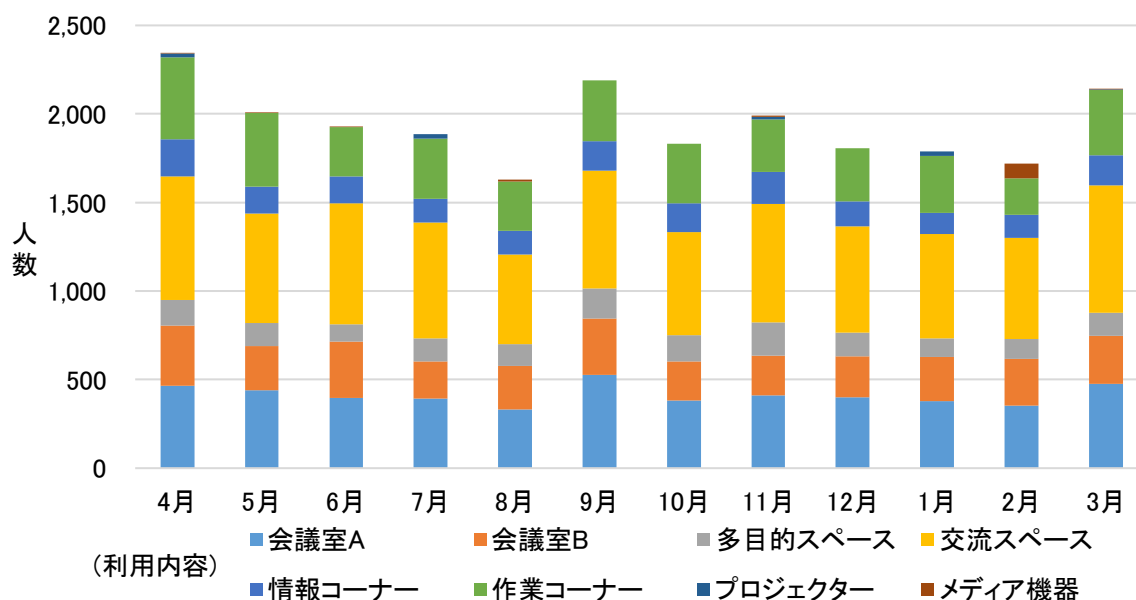
ア 市民活動支援施設管理運営事業 ※支援施設事業の一環で実施

藤沢市の市民活動支援施設(A)藤沢市市民活動推進センター及び(B)藤沢市市民活動プラザむつあいの指定管理者として管理運営を行った。

(A) 藤沢市市民活動推進センターの管理運営

主な業務内容:施設管理業務・団体登録業務・会議室貸出・フロア管理・作業機材管理・ロッカー貸出・レターケース管理・活動団体データベースの作成・活動相談業務・サポートクラブの管理運営・掲示版・配架ラックの整理・行政との調整及び報告

グラフ 月別の市民活動推進センターの利用者数



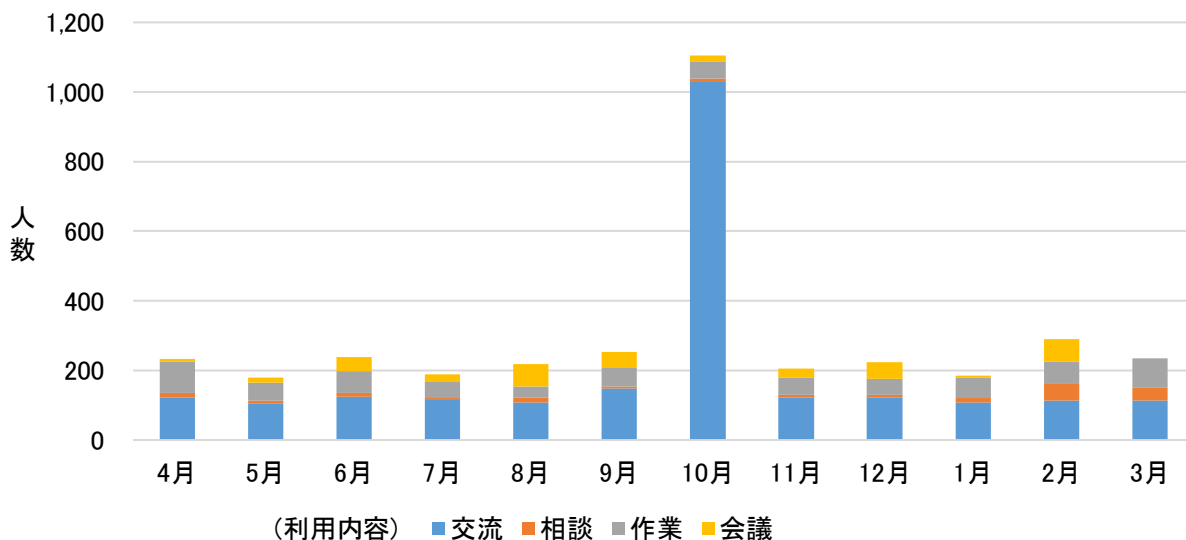
藤沢市市民活動推進センター利用者数及び件数 (カッコ内は前年度比)

年間延利用者数	: 23,227 人(21 人減)	1 日利用平均人数	: 75.41 人(0.07 人減)
年間利用件数	: 7,957 件(701 件増)	1 日利用平均件数	: 25.83 件(2.27 件増)

(B) 市民活動プラザむつあいの管理運営

業務内容は(A)同様、加えて六会市民センター会議室予約代行を実施した。

グラフ 月別の市民活動プラザむつあいの利用者数



藤沢市市民活動プラザむつあい利用者数及び件数（カッコ内は前年度比）

年間延利用者数	: 3,553 人(5 人増)	1 日利用平均人数	: 11.69 人(0.10 人増)
年間利用件数	: 1,461 件(46 件減)	1 日利用平均件数	: 4.81 件(0.11 件減)

- | | | |
|---------|-------------------------------|-----------------|
| ① 日時 | (A) 年間 | (B) 年間 |
| ② 場所 | (A) 市民活動推進センター | (B) 市民活動プラザむつあい |
| ③ 従事者人員 | (A) 16 名 | (B) 8 名 |
| ④ 受益対象者 | 公益的な市民活動を行っている、又は興味のある団体および個人 | |

イ シェアオフィス事業

当団体の事務所について、株式会社 1 団体、一般社団法人 1 団体、NPO 法人 2 団体とシェアして利用した。

- | | |
|---------|--------------------|
| ① 日時 | 年間 |
| ② 場所 | 藤沢市内 |
| ③ 従事者人員 | 2 名 |
| ④ 受益対象者 | 団体（営利・非営利問わず）および市民 |

(4) 市民活動の普及啓発および推進事業

ア イベント等プロデュース事業

本年度はオンラインのみならず対面でのイベントが増えてきており、各種イベント等の企画へ参画し、市民参加の推進を図った。ボランティアやインターン等、のべ 70 名に地域参加・参画の機会を提供した。

- ① 日時 年間
- ② 場所 藤沢市内および近隣
- ③ 従事者人員 2 名
- ④ 受益対象者 まちづくりに興味関心ある一般市民

参考:参画事業内訳

イベント名	期間	ボランティア 人数
湘南・藤沢おいしいものフェスティバル	2024 年 4 月 13 日(土) ・ 14 日(日)	9 名
	2024 年 10 月 12 日(土) ・ 13 日(日)	6 名
田園長後の朝市	2024 年 4 月 13 日(土)	1 名
	2024 年 6 月 8 日(土)	1 名
	2024 年 8 月 10 日(土)	5 名
	2024 年 10 月 12 日(土)	1 名
	2024 年 12 月 14 日(土)	1 名
	2025 年 2 月 8 日(土)	1 名
神社 de マルシェ	2024 年 5 月 26 日(日)	4 名
	2024 年 7 月 28 日(日)	1 名
	2024 年 11 月 24 日(日)	1 名
	2025 年 1 月 26 日(日)	3 名
	2025 年 3 月 24 日(日)	3 名
FUJISAWA SPORTS PARK	2024 年 6 月 2 日(日)	3 名
	2024 年 10 月 13 日(日)	2 名
藤沢市民まつり	2024 年 9 月 21 日(土)	12 名
地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム成果発表会	2025 年 2 月 22 日(土)	2 名
親子アウトドア体験フェス	2024 年 5 月 12 日(日)	6 名
辻堂ハロウィン&辻堂音楽祭	2024 年 10 月 26 日(土)	4 名
日本語スピーチ大会 in 湘南台	2025 年 3 月 1 日(土)	4 名

イ サポートクラブの運営 ※支援施設事業の一環で実施

一般市民の希望者に支援施設サポーターとして支援施設の運営支援等の活動に携わっていただいている。弊団体では、サポーターの集まりである「サポートクラブ」の運営管理や事務局運営を担った。

サポーターの皆さまには、IT 相談、F-wave の記事執筆、封入・発送準備、館内清掃・消毒、市民まつりブースの企画・運営、市役所及び湘南台駅地下・湘南台公民館での団体紹介パネル展示の設営・撤去、各種講座の実施・運営、利用票やアンケートのデータ入力など、多岐にわたる内容のご協力を頂いた。

また、サポーター同士の交流機会を兼ねた「サポートクラブ運営ミーティング」を 3 回実施、サポーター向け情報誌「サポートクラブレター」を 6 回発行した。

※サポーター206 名(加入:16 名、脱退:9 名)、アドバイザー27 名(加入:1 名) 2025 年 3 月 31 日現在

- ① 日時 年間
- ② 場所 藤沢市内
- ③ 従事者人員 3 名
- ④ 受益対象者 市民活動を行っている、又は行おうとする市民

ウ ボランティアやインターンの積極的な受入および受入協力団体の育成事業

一般市民の市民活動参加意識の促進を目的として、A.「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム 2024」を行った。また、前年に引き続き、B. 藤沢市市民活動推進センター等でのインターン受入事業を実施した。

(A)「地域でつながるワカモノ×NPO インターンシッププログラム 2024」の事務局運営

高校生・大学生・専門学生・大学院生からインターン生(※1)を募集し、約 7 か月間継続的に責任を持って NPO の活動に参加するインターン生 9 名に対して、活動奨励金を助成した。

この経験を通じて、将来地域で行う公益的市民活動を担う人材が育成されること、そして地域の NPO(※2)における組織基盤の強化が進むことを期待して実施した。なお、本年度は藤沢市市民活動推進センター協力のもと事業を実施し、対面での開催を重視して行った。

※1 高校生:50 時間以上(上限 80 時間)、ワカモノ:60 時間以上(上限 100 時間)

※2 本プログラムにおける受入協力団体は以下の通り(計 9 団体)

(認 N)まちづくりスポット茅ヶ崎 (認 N)藤沢市市民活動推進機構 (一社)4Hearts (N)湘南 FP 相談室

(N)優タウン (N)藤沢サンクチュアリ おととき♪ (認 N)鎌倉広町の森市民の会 生き×居きコミュニティ

(B) 藤沢市市民活動推進センター等でのインターン受入事業

市民活動推進センターにて、インターンの受け入れを行った。

※受入れ就労移行支援事業所等

LITALICO ワークス :10 名

ミラトレ藤沢(パーソルチャレンジ株式会社就労移行支援事業所) :50 名(のべ人数)

ユースサポート・ユースワークふじさわ :1 名

- ① 日時 年間
- ② 場所 市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい、各団体の活動場所等
- ③ 従事者人員 13 名
- ④ 受益対象者 市民活動団体関係者・興味のある市民

エ 社会貢献活動の推進および支援事業 ※支援施設事業の一環で実施

社会の利益に資する活動をするものに対し研修事業等の支援を目的に、「六会人材センター運営事業※」を実施した。地域への活動への理解と協力をさらに拡げる活動を行った。ただし、本年度事業は学習支援に特化することとなったため件数は減少した。

実績:依頼案件 5 件、マッチング 3 件、派遣延べ人数 107 名

※地域の中の課題を共に考え、困りごとを地域の人たちの協力により解決策を探り進める ことで、地域市民の交流を図り市民意識の活性を目指す活動。

- ① 日時 年間
- ② 場所 藤沢市内
- ③ 従事者人員 4 名
- ④ 受益対象者 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの

オ 農福連携マッチング等支援事業

障がい者の就労機会の確保・工賃向上、農業の担い手の確保という課題解決のために、農業と福祉との連携推進を行った。

これまで神奈川県と契約して県内 8 市町村で実施していたが、今年度からは JA あつぎ、JA 県央愛川の 3 市町村エリアでも事業スタートし、別途、大和市とも契約を結んで事業を進めている。

成果として、農業と福祉とのマッチング成立が 10 件(累計 25 件、農福コーディネーターによるものも含む)、農福連携コーディネーターの養成が 14 名(累計 33 名)、大和市ではスタートアップミーティングを 2 回とニーズ調査を行った。

- ① 日時 年間
- ② 場所 県内 11 市町村の役場、社協、JA、農地、福祉事業所
- ③ 従事者人員 2 名
- ④ 受益対象者 農福連携に興味関心のある農家及び福祉作業所（利用者）、一般市民等

カ かながわ水産業福祉連携推進事業

水産業の担い手の確保、及び障がい者・高齢者・生活困窮者の就労・雇用機会の創出という課題を解決するため、水産業・福祉双方のニーズに付加価値をつけて担い手の定着化を促進し、漁村地域のコミュニティの活性化を図る事を目的とした、研修、水産業と福祉事業所とのマッチング事業を行った。

研修は、一般向けを 5 回、水産業者向けを 2 回、コーディネーター育成は 2 回、開催した。福祉事業所スタッフ向け水産業技術支援は 7 回、現場体験は 8 回、マッチングの場づくりは 4 回、開催した。

水産業福祉当事者団体、民間等が一堂に会する水産業福祉連携推進研究会は 4 回、オンラインで開催した。マッチング成立実績は 20 件(新規 11 件、継続 9 件)だった。

- ① 日時 年間
- ② 場所 藤沢市内および藤沢市以東の神奈川県地域
- ③ 従事者人員 4 名
- ④ 受益対象者 水産業者、福祉事業者、一般市民等

キ スマホ何でも相談窓口ボランティア育成事業

藤沢市内 11 地区の公民館・市民センターにて開催されている「スマホ何でも相談窓口」について、相談窓口を担っているボランティアの育成支援を行った。ボランティア同士で情報交換・つながりをつくるボランティア交流会や、中核人材を育成するリーダー研修会等を実施した。

- ① 日時 年間
- ② 場所 各公民館、市民センター 他
- ③ 従事者人員 4 名
- ④ 受益対象者 スマホ相談窓口ボランティア、及び、その関係者

ク 関連委員会、審議会への参加

市民活動の理解を促進することを目的に、各種市民活動関連委員会・審議会に参加・協力した。

- ① 日時 年間
- ② 場所 会議等開催場所
- ③ 従事者人員 6 名
- ④ 受益対象者 各種委員会・審議会等（※）

※参考：参加委員会・審査会等

全国	民間 NPO 支援センター・将来を展望する会 ICT 支援者ネットワークミーティング 一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク 事業ユニット幹事会議 同 事業業ユニット幹事 チーム5「国連未来サミットおよび国際連携」 同 地域ユニット会議 同 地域ユニット＜SDGs 達成に向けた NPO のための調査研究と 研修開発事業＞プロジェクト推進委員会
神奈川県	神奈川県支援施設 CEO ミーティング 神奈川県内認定・指定ゆるやかなネットワーク かながわ人生 100 歳時代ネットワーク会議 神奈川県ともいきアドバイザー会議 かながわ福祉移動サービスネットワーク
藤沢市	藤沢市市民活動推進委員会 藤沢市シティプロモーション委員会 藤沢市ワークライフバランス会議 (公財)藤沢市まちづくり協会評議員会議 湘南東部地区福祉有償運送市町共同運営協議会 藤沢市社会教育委員会 藤沢市六会地区青少年育成委員会 六会地区郷土づくり推進会議 藤沢市民まつり実行委員会 藤沢市部活動地域移行推進協議会 藤沢災害救援ボランティアネットワーク
他市町村等	横須賀市市民協働審議会 綾瀬市市民活動推進委員会 逗子市市民協働等推進懇話会 二宮町町民活動推進委員会 新宿区市民協働サポーター会議

(5) 市民参加によるまちづくり推進事業

ア 多様なセクターの協働によるまちづくり推進事業

個人・非営利組織等をはじめ組織を問わず、社会の利益に資する活動をするものの仲介(コーディネーション)を実施することで協働を推進し、まちづくりの推進に寄与した。「協働コーディネーター」を2名設置し、市民活動団体と様々な主体が相互に協調・連携して地域課題の解決への取り組みができるよう、コーディネーションを行った。協力先の開拓、団体のマッチングと調整、団体への現地視察等によるアドバイス等を行い、延べ49件となった。

ミライカナエル活動サポート事業の協働コースに係る事前相談・選考・審査の支援を行った。

企業との相談・アドバイスを行った。片瀬地区の店舗の休館日を地域活用し子どもたちの居場所づくりにつなげる事ができた。(株)伊藤園とのチャリティベンダー(社会貢献型自動販売機)設置サポートは継続して行った。

定期的に藤沢市社会福祉協議会とのミーティング等を実施した。情報共有のほか、共同イベントや相談案件の対応協力等を行った。

市内の公民館・市民センター等のニーズに応じて、講座の実施や講師となる団体の派遣、依頼元施設のサポートなどを7回行った。

- ① 日時 年間
- ② 場所 藤沢市役所、市民活動推進センター、市民活動プラザむつあい他
- ③ 従事者人員 8名
- ④ 受益対象者 社会貢献活動を行うもの、又は行おうとするもの

イ イベント参加支援事業

他セクターとの協働を促進し、市民活動の普及を図ることを目的に、長後ボランティアまつり等、藤沢市内でのイベントを中心に参加支援を行った。

- ① 日時 年間
- ② 場所 藤沢市内および近隣
- ③ 従事者人員 5名
- ④ 受益対象者 市民活動団体およびその関係

ウ 地域資源活用事業

藤沢市内各所に点在する空き家や、企業の事務所及び展示場の空スペース等の地域資源の地域活動への活用(場の提供)の支援として、片瀬江の島・湘南人不動産の事務所の休業時活用をはじめ、市内 3 カ所で支援をした。

- | | |
|---------|--|
| ① 日時 | 年間 |
| ② 場所 | 団体事務所等 |
| ③ 従事者人員 | 2 名 |
| ④ 受益対象者 | 一般市民、公益的な市民活動を行っている団体、地域活動に興味関心のある企業関係者等 |

3 その他

ア 会議等の開催

理事会	2024 年 4 月 21 日(日)	オンライン及び市民活動推進センター
	2024 年 6 月 9 日(日)	オンライン及び市民活動推進センター
	2024 年 6 月 16 日(日)	オンライン及び市民活動推進センター
	2025 年 3 月 22 日(土)	オンライン及び市民活動推進センター
通常総会	2024 年 6 月 16 日(日)	オンライン及び市民活動推進センター